

新規 6月開講

できる化学者・化学技術者をつくる

「実力養成化学講座」

日本化学会 産学交流委員会、学術研究活性化委員会
化学技術者教育委員会

化学の研究者・化学技術者が、企業において現実の制約条件を乗り越えて期待された成果を挙げるためには、仕事に関連する複数の分野で、

その分野を特徴付ける理論を十分に理解している。

その理論を応用するための基本的な知識を習得している。

理論がどう応用できるかを知っており、必要が生じたとき実際に応用できる。

ことが重要です。

日本化学会は、企業からの強い要望にこたえるため、大学、大学院卒業者の学力低下を補い、自立的に仕事ができる化学者・化学技術者を養成するための研修セミナーを企画しました。このコースの対象は、レベルアップを目指す企業の研究所、工場、スタッフとして働く技術者です。学歴は問いませんが、大学の化学系学科卒業程度の学力が前提です。

このセミナーは、受講者全員に修了証をあたえるのではなく、最後に実施される試験において十分なレベルに達したことが認められた者のみに合格証が与えられます。

現在、工学系学協会の連合体である日本工学会の PDE 協議会委員会で、工学のあらゆる分野で資格認定につながる技術者の継続教育システムの構築を目指しています。本セミナーの合格証は、この活動とも連動して日本化学会が2年後を目処に準備中の「日本化学会認定化学士（仮称）」取得のための基本単位のひとつとして認められます。

開設する3コースの紹介

「キラル化学—不斉合成」研修コース

医薬品、農薬さらには液晶などの付加価値の高い先端新素材の製造において、純粋な光学活性化合物の重要性がますます大きくなっています。特に新しい概念に基づく画期的な新医薬創製への要望は強いものがあり、不斉合成はその基礎をなすものです。大学で不斉合成を専門に研究された方以外で、これからこの分野の仕事に就かれる新入社員も少なくないと思われます。このコースは不斉化合物の合成を重要な柱とする企業の新入社員あるいはもう一度勉強しようとする方々を対象とし、不斉化合物の入手法全般から不斉合成の最先端まで、実践に役立つ技術に関する講義を行います。

サブテキスト「先端ウォッチング キラル化学」日本化学会
プログラム 会場：日本化学会館

平成 15 年 6 月 6 日 (金) 〔第一日目〕主査 大島幸一郎

1. 不斉合成とは (京大院工) 大島幸一郎
2. 不斉還元 (名大理) 大熊 毅
3. 不斉酸化 (九大院工) 香月 勲
4. 不斉炭素 炭素結合生成 (京大院理) 林 民生
5. 不斉増幅 (東理大) 碓合 憲三

懇親会

平成 15 年 6 月 7 日 (土) 〔第二日目〕主査 大島幸一郎

6. 不斉工程開発へのコンビナトリアル・アプローチ (分子科学研) 魚住泰広
7. 不斉重合 (東大院理) 野崎京子
8. 生体触媒による不斉合成 (京大化研) 中村 薫
9. キラル化合物の工業的合成法 (味の素) 井沢 邦輔
10. 光学異性体の分離 (ダイセル化学) 秋田和之
11. 合否判定試験、講評 主査 大島幸一郎

「高分子化学」研修コース

現代は「高分子の時代」といわれるほど我々の身の回りには高分子物質があふれています。大学では高分子化学が専門ではなかった人で、企業に入って高分子化学関連のテーマに従事される新入社員ならびに若手社員の方も少なくないと思われます。大学で高分子化学について勉強されたとは思いますが、今一度、基礎から実践に到るまでを改めて勉強してみようとする方々を対象として、高分子の合成ならびに物性、機能、および材料として応用について習得していただくのがこのコースの目的です。

サブテキスト「先端ウォッチング 先端高分子化学」日本化学会

プログラム 会場：日本化学会館

平成 15 年 6 月 13 日 (金) 〔第一日目〕主査 中條善樹

1. 高分子とは (京大院工) 中條善樹
2. ラジカル重合、イオン重合 (京大院工) 澤本光男
3. 重縮合、重付加、付加重合 (東工大院理工) 上田 充
4. 無機高分子とハイブリッド材料 (東京理科大理工) 阿部芳首
5. 高分子の工業的利用 (大阪市大院工) 圓藤紀代司
6. 高分子と知的財産 (三菱化学) 長谷川暁司

懇親会

平成 15 年 6 月 14 日 (土) 〔第二日目〕主査 中條善樹

7. 高性能高分子 (神戸大工) 西野 孝
8. 高分子の光機能 (京大院工) 伊藤紳三郎

- | | |
|-------------------|---------------|
| 9 . 高分子の電子機能 | (東京農工大工) 大野弘幸 |
| 10 . ナノテクノロジーと高分子 | (北大電子研) 下村政嗣 |
| 11 . 環境と高分子 | (京工大繊維) 木村良晴 |
| 12 . 企業における研究開発 | (東洋紡) 大口正勝 |
| 13 . 合否判定試験、講評 | 主査 中條善樹 |

「電気化学」研修コース

電気化学は、電池、めっき、防食、電解精錬、電解合成、センサー、環境分析など応用が多彩な学問・技術分野ですが、その基本は物理化学と物性論であり、企業に於いて柔軟に実用展開をはかるにも、この二つの基礎科学の習得が肝要です。

本コースでは、受講者にこの基礎科学の要諦をしっかりと体得させた上、応用展開への手法につなげてゆきます。受講者に質問を頻繁に投げかけ、2ヶ月間の熟成期間を設けて、この間3回の講義を行うなど、教育に情熱を持った若手、ベテランの講師による新機軸の研修にご期待ください。

テキスト「エッセンシャル電気化学」東京化学同人

プログラム

会場：日本化学会館

平成15年6月21日(土)〔第一日目〕主査 高村 勉

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1 . 電気化学とは | |
| オリエンテーションと実力テスト(ハルビン大) | 高村 勉 |
| 2 . 二相界面と起電力 | 同 |
| 3 . 溶液、電気伝導 | 同 |
| 4 . 電池 | (神奈川大工) 佐藤祐一 |
| 5 . 電気二重層、キャパシタ | 同 |

平成15年7月26日(土)〔第二日目〕主査 高村 勉

- | | |
|-------------------|--------------|
| 6 . 質疑応答 | (ハルビン大) 高村 勉 |
| 7 . 電極反応 | 同 |
| 8 . 物質移動 | (東工大院理) 内本喜晴 |
| 9 . 電気分析 | 同 |
| 10 . 固体電解質、高温電気化学 | 同 |

懇親会

平成15年8月23日(土)〔第三日目〕主査 高村 勉

- | | |
|----------------|---------------|
| 11 . 電極の化学 | (東京理科大学) 板垣昌幸 |
| 12 . 腐食防食 | 同 |
| 13 . 電気化学計測法 | 同 |
| 14 . めっき | (神奈川大工) 佐藤祐一 |
| 15 . 合否判定試験、講評 | 主査 高村 勉 |

各コースとも、プログラム、講師の先生方等、変更する事も御座います。

企業研修の一環として活用できる様に、毎年、定期的開催する予定です。

各コース毎の参加費 化学会会員、法人会員企業社員 40,000 円、非会員 50,000 円

テキスト代、懇親会費を含む

企業研修の一環として計画される場合は、問い合わせ下さい

参加申込締切 各コースとも定員（80名）になり次第、締め切ります。

参加申込方法等 電話、メールで受け付けます。

社団法人 日本化学会企画部（Tel:03-3292-6163, or 6164 Fax:03-3292-6318）

担当 沢田（ sawada@chemistry.or.jp ）、根岸（ negishi@chemistry.or.jp ）

以上